



VR消火訓練シミュレータ

初期消火に必要な消火器の使い方を最先端のVRで体感

VR（ヴァーチャルリアリティ）を活用した、消火訓練用のシミュレータ。360°映像により、リアルな消火活動をいつでも、どこでも、誰もが簡単に、何度でも、訓練可能。初期消火で重要な消火器を用いた訓練活動を通じて、防火防災の一助となることを目的に製品化。

商品イメージ

POINT! VRコントローラを消火器に内蔵し、実際の消火器と全く同じ操作性を実現!



VR消火体験シミュレータによる表示映像イメージ
※火災現場の炎や煙を再現、実体験しながら立体的に見える。



特許
取得済

ヘッドマウントディスプレイ（HMD）を装着した訓練者
VR訓練用消火器の操作イメージ

スマホ+VRゴーグル+訓練用消火器の3点セット

システム構成

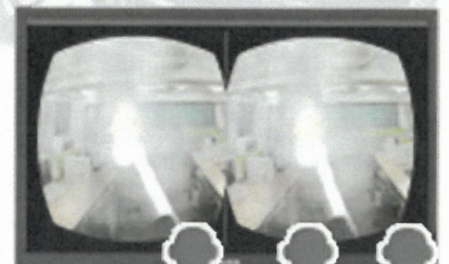


ホース先端にセンサーを内蔵し動きをトレース

Bluetooth™



ピンを抜いてレバーを握るとVR上で消火剤を放射



持ち運び容易、設置も調整も不要！
専用消火器は、技術基準適合証明を取得済み

モニターでVRと同じ映像を出力！
指導・アドバイスが可能に。

火災発生、 その時、最も大切なのは初期消火

消火訓練の最重要ポイントは、有事の際に動けるかどうか。
実際に火災を体験した人は殆どいない中、実体験に限りなく近い環境を
VRを活用することで再現。

VR消火訓練シミュレータ



実物の消火器を使用

実物の消火器にVR用無線コントローラを内蔵した専用消火器を使用。
“安全ピンを抜き、ホースを火元にむけ、レバーを握ると消火剤を放射”という
消火器の使い方を完全にトレースしているため、**誰もが本当の操作を体験可能。**

- ※専用消火器は、技術基準適合証明を取得済み
- ※VR消火訓練シミュレータは関連技術の特許取得済



場所を限定せず手軽に利用可能

モバイルタイプの本シミュレータは、**準備も簡単、後片付けも不要、いつでも、
どこでも、何人でも、何度でも、年間を通して全員が訓練に参加可能。**

訓練で実際に火災を発生させるのは困難であり、消火剤を放射できたとしても、訓練場所が限定される。
本製品を用いた訓練は、**消火訓練として認められる**との消防団体の確認済み。
※例えば、工場内の精密機器に消火剤をまくことは事実上不可能



リアルな体験を追求

火災現場の**炎や煙、消火剤等をリアルな映像、体験として再現**するべく、自衛消防に
関する法定講習実施機関としての専門的知見を有する『**一般社団法人 東京防災設備
保守協会**』の監修。

標準仕様・2シーン版 120万円 (VR機器込み、税抜き)

オフィス火災、キッチン火災

標準仕様・3シーン版 160万円 (VR機器込み、税抜き)

オフィス火災、キッチン火災、工場火災 or オフィス火災、キッチン火災、リビング火災

自社設備版 260万円 (VR機器込み、税抜き)

360度カメラで貴社オフィスを撮影し、VR空間に組み込んだオリジナルの火災シーンを作成します。
標準仕様から更に臨場感が高まります。

カスタマイズ版 500万円～ (VR機器込み、税抜き)

金属・電気・油火災等、様々な火災に対応します。火災原因、発生場所によって異なる火災シーンを再現
また、訓練結果をチャート式で表示する等、より実戦的な訓練が行えます。
工場や倉庫を複数所有する企業様向けのカスタマイズ版です。
※ベースとなるVRプログラムを作成し、複数拠点に導入する場合はリーズナブルな価格にてご提供可能です

レンタル 1日間 12万円～ (VR機器込み、税抜き)

短期～長期レンタルも対応しております。

全国50カ所を超える 消防・自治体で選ばれています！

VR消火訓練といえば

VR消火訓練シミュレータ

3つの
安心

- 1 本物の消火器でリアルな体験
- 2 準備も後片付けも簡単
- 3 全年齢対応で小学生も体験可能

●有明広域行政事務組合消防本部 [2021年]

校外学習の一環として子供たちも消火体験ができる。
全年齢対応のVRなので安心。



導入のきっかけと効果わかるインタビュー動画をご覧ください。

●京都市消防局 [2024年]

VRならではの「失敗」から学べる経験。
粉末消火剤で視界が悪くなるなど、
水消火器では得られない。



導入のきっかけと効果わかるインタビュー動画をご覧ください。

●倉敷市消防局 [2024年]

「想像」を補ってくれるのがVR。火災の発生を視覚的に把握できるのが凄いところ。



導入のきっかけと効果わかるインタビュー動画をご覧ください。

コミュニティ助成 利用

令和9年度
導入に向けた
支援、承ります。

コミュニティ助成プランの活用も含め、お気軽にご相談ください。

◆消防・自治体：導入実績

- 北海道 ●江別市防火管理者連絡協議会
●とかち消防局
●岩内・寿都地方消防組合
- 青森県 ●つがる市消防本部
- 福島県 ●郡山地方広域消防組合
●富岡町
- 東京都 ●東京消防庁(防災館)
●練馬区
●葛飾区
●目黒区
- 神奈川県 ●綾瀬市消防本部
●神奈川県庁

- 神奈川県 ●藤沢市消防局
●大和市消防本部
- 富山県 ●黒部市
- 長野県 ●塩尻市
●木曾広域消防本部
●長野市
- 静岡県 ●湖西市消防本部
●志太消防本部
- 愛知県 ●長久手消防署
(愛知県尾三消防組合)
●西尾市消防本部
●豊田市消防本部

- 三重県 ●四日市市消防本部
- 滋賀県 ●彦根市消防本部
- 京都府 ●京都市消防局
- 大阪府 ●河内長野消防署(大阪南消防組合)
●八尾市消防本部
- 兵庫県 ●芦屋市
- 奈良県 ●奈良県広域消防組合
- 和歌山県 ●和歌山市消防局
- 岡山県 ●倉敷市消防局
●一般社団法人美作市
危険物安全協会
- 広島県 ●江田島市消防本部

- 香川県 ●坂出市消防本部
●三観広域行政組合消防本部
- 愛媛県 ●伊予消防等事務組合消防本部
- 高知県 ●南国市消防本部
●香南市消防本部
- 福岡県 ●八女消防本部
- 佐賀県 ●佐賀広域消防局
- 長崎県 ●長崎市消防局
- 熊本県 ●有明広域行政事務組合消防本部
●熊本市消防局
- 宮崎県 ●都城市消防局
- 鹿児島県 ●鹿児島県防災センター

近代消防

特別企画号

VR消火訓練 スペシャル

倉敷・有明・京都の消火防災の訓練活動を紹介

01 OKAYAMA PREFECTURE Kurashiki City Fire Department

岡山県

倉敷市消防局

災害に学んだ防災意識をさらに高め、 子どもたちの防火思想の普及に役立てたい。

少年消防クラブの育成と、 地域の防災意識高揚のために

倉敷市消防局は、美観地区で有名な倉敷市と浅口市金光町および都窪郡早島町を管轄する消防局です。少年消防クラブの育成や、SNSを活用した様々なプロモーション活動などを通して、各家庭・地域の防災意識の高揚を図っています。フロア1階には、防災の知識を楽しみながら学べる「防災センター」が併設されており、地震・火事・救急・風水害など地域事情に根ざした多彩な体験コーナーは人気を集めています。そのひとつ、消火作業を体験するツールとして導入されているのが、VR消火訓練シミュレータです。

水消火器の訓練では、 正しい消火技術の指導が難しい

倉敷市消防局 予防課予防係 係長の田中崇敬さんは、「消防の機関誌の取材記事を読んだことが興味を持ったきっかけでした」と当時を振り返ります。「それまで消火訓練は水消火器をメインに使っていたのですが、水で的を倒すという過程が実際の消火とは異なり、炎の元をほうきで掃くように消火するという消火技術の指導が難しいと感じていました。VR消火訓練シミュレータは映像のリアルさだけでなく準備や片付けの手間も要りません。そうした手軽さにも惹かれて2024年9月に1機導入しました。VRは子どもたちにとって非常に理解しやすいコンテンツでもありますし、体験してもらうことで初期消火をより身近に感じてもらえます。宝くじのコミュニティー助成事業として得た補助金を活用して導入しました。」

実際の火災を想像させてくれる 有効な防災コンテンツ

倉敷市消防局 予防課審査指導係の嶋田消防士長は、はじめて体験した時にVR映像の再現度の高さに驚いたといいます。「視覚、聴覚で火災現場に居合わせた感覚になるのがすごいと思いました。実際の火災に対応していくためには、火災を知って想像してみないと行動につながりません。このVR消火訓練シミュレータは、その“想像する”という部分を補ってくれる有効なコンテンツになっていると思います」。今後の活用方針について田中さんにうかがいました。「毎年夏に行われる少年消防クラブの研修にも持って行って、子どもたちへの防火思想の普及に役立てたいと思います。地域の防災イベントでも積極的に使っていただきたいですね。」



お話を伺った方々

倉敷市消防局
予防課予防係 係長

田中 崇敬さん



倉敷市消防局
予防課審査指導係 消防士長

嶋田 大志さん



熊本県

有明広域行政
事務組合 消防本部

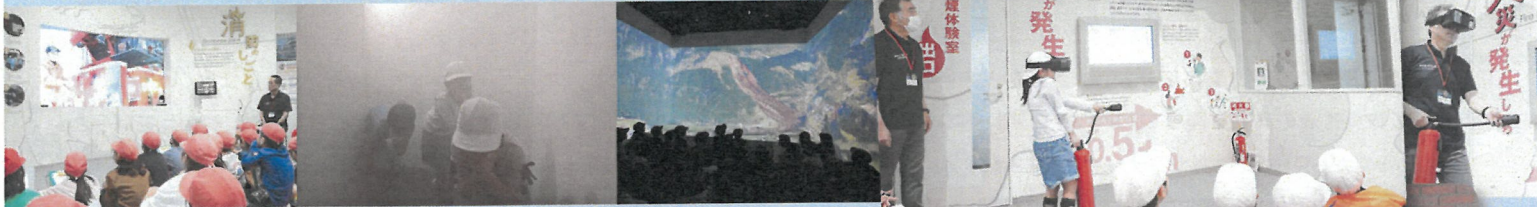
初期消火の重要性を気軽に体感できるから 地域の防災の一助になります。

煙の広がり方がリアル、 天候に関係なくいつでも使える

有明広域行政事務組合 消防本部の1階にある「ありあけ防災館」は、パネル展示や映像、VR体験といった多彩なコンテンツを通じて、同地区の災害リスクや防災対策を学べる体験型の防災学習施設です。なかでも注目を集めているのが、VR消火訓練シミュレータです。その導入の経緯について、館長の田尻真澄さんにうかがいました。「平成30年3月に、メーカーの方に実機を持参していただいたのがきっかけです。本部職員10名が体験しましたが、煙の広がり方がとてもリアルだったことに皆驚きました。本物の消火器や水消火器とは違い、天候に関係なく使えることや繰り返して何回も使えることも決め手になりました。補助金等を活用する必要もなかったのでスムーズに導入できました」。

幅広い方々に、初期消火の必要性を 体感してもらえる

「ありあけ防災館」では、毎年10月から11月に校外学習がピークを迎えるため、平日でも多くの子どもたちが訪れます。VR消火訓練シミュレータを体験した子どもたちからは、「すごーい!」「私もやってみたいー!」などの歓声が上がることもあるそうです。「家族連れから団体の方まで、幅広い皆さんに初期消火の必要性を体感してもらえるのがよかったと思います。火の広がり方もリアルなので、実際に消火しているような体験ができるのがいいですね。皆さんからも、そうした点が評価していただけているようです。水消火器と併用しながら訓練を実施することができるので、とても助かっています」。



事業所やスーパーなどの 防災訓練にも活用したい

万が一の故障などに備えて、合計4機を導入している「ありあけ防災館」。VR消火訓練シミュレータを今後どのように活用されたいのかがうかがってみました。「有明地区では大きな事業所やスーパーなどにVR消火訓練シミュレータを持って行って、より多くの皆さんに体験してもらいたいですね。本物の消火器は粉が出るので訓練には不向きですし、水消火器は水を何回も入れ替えないと使えません。初期消火の重要性を楽しみながら学べるVR消火訓練シミュレータは、地域の防災の一助になっていくと思いますね」。

お話を伺いました方

有明広域行政事務組合
消防本部
「ありあけ防災館」館長

田尻 真澄 さん





京都府

京都市消防局

自主防災組織の育成と指導の一環として導入、地域の防災対策の強化につなげる。

失敗もある、現実的な消火訓練

京都市消防局は、概ね市内の小中学校区を単位とする227の自主防災組織とともに地域防災力の向上に取り組んでいます。VR消火訓練シミュレータは、その組織の育成と指導の一環として導入されたそうです。京都市消防局 消防団・自主防災推進室自主防災推進係長の吉田英彦さんにお話をうかがいました。「令和6年の能登半島地震を受けて、火災時に必要となる初期消火などの初動活動能力の向上や、自主防災活動の担い手を育成する研修の充実など、地域の防災対策の強化につながる消火訓練の方法として導入しました。もっと現実的な消火訓練を行うためにはVR消火訓練シミュレータが最適だと思いました。本物の消火器を使用するという点も非常に良かったです」。

いつでもどこでも場所や天候を問わず訓練できる

吉田さんが最も優れているとおっしゃったのが、VRならではのリアリティのある映像です。「水消火器では、粉末が舞った時に生じる視界不良の状況が再現できません。ところがVR消火訓練シミュレータは、実際にどれくらい視界が見えなくなるのかがわかるだけではなく、燃えている場所に消火剤を当てるのがいかに難しいのかということまで伝わります。普通の訓練では成功するのが当たり前ですが、VR消火訓練シミュレータはしっかりやらないと消火に失敗してしまうことがある。そういうところも良いと思いました。天候に関係なく、いつでもどこでも訓練ができる点もいいですね」。



地域防災の今後の担い手となる方に使っていただきたい

防災対策として、初期消火の重要性は日に日に増大しています。吉田さんは、「もちろん火災を出さないことが一番ですが、火災になってしまった場合でも拡大する前にしっかり消し止めることが大事です。だからこそ、VR消火訓練シミュレータを使った訓練が重要です。現在は自主防災の担い手となる方への研修の一環として使用していますが、今後はもっと市民の方が多く集まる場所でも使っていただけるような仕組みを考えていきたいと思っています」とおっしゃいます。古くから地域防災の精神が根付いている京都市に

おいて、VR消火訓練シミュレータはますます大きな役割を果たしていくのではないのでしょうか。

お話を伺った方

京都市消防局
消防団・自主防災推進室
自主防災推進係長

吉田 英彦さん



VR 消火訓練シミュレータ

いつでも、誰でも、どこでも、実際さながらの消火訓練ができる



訓練
一新!



万が一の時に落ち着いて行動できる
VR360°火災映像により、その場にいるような臨場感のある訓練ができます。



消火器の操作が学べる
コントローラ内蔵の消火器のため、いざ、というときに本物の消火器がスムーズに使える！



すぐに訓練が始まります
準備や片付けが容易で、すぐに誰もが簡単に、訓練が可能です。



火災発生時の体験をリアルに
火災発生時に最も大切な初期消火の訓練が迫力のあるVR映像で体験できます。



訓練の映像をモニターで確認
訓練時には外部モニターでその場で立ち会う人達と同時に映像を確認



よりリアルな訓練を自社設備版で
貴社を撮影し、360°VR映像で訓練できます。また金属や電気・油など、様々な火災も再現。

お問い合わせ